

宮原たけし

大阪府議会議員

日本共産党



プロフィール

1947(昭和22)年生まれ。父の死後、山口県上関町で5歳から母に育てられる。熊毛南高校の同窓生に道上洋三氏や原田大二郎氏がいる。京都大学文学部で学ぶ。高槻市役所職員を経て、1974年日本共産党の職員に。

1991(平成3)年に大阪府議会議員に初当選。幹事長を経て2003(平成15)年から、議員団長。現在6期。

■趣味▶読書(歴史小説や時代小説・人情もの、マンガなど)▶ラグビーや駅伝、サッカーなどの観戦 ■心に残った映画▶「あなたへ」「隠し剣鬼の爪」「たそがれ清兵衛」「寅さんシリーズ」■嫌いなこと▶弱い者いじめ ■好きな歴史上の人物▶吉田松陰、坂本龍馬 ■人生の目標▶明るい幸せな社会



発行：日本共産党 高槻・島本地区委員会 No.15-2
高槻市芥川町2-25-4 2015年2月・3月号
TEL.072-685-6661 FAX.072-681-6389

日本共産党高槻・島本地区
委員会は、次の見解を發表し
ましたのでお知らせします。

私のあゆんだ道

「鳩子の海」の舞台で育つ

父は福岡県大牟田市にある三井三池炭鉱で働いていたそうですが、5歳の時に亡くなったので、父が仕事から帰った時、母に内緒で飴玉をもらったことなど、断片的な記憶しかありません。

母は、実家の瀬戸の山口県上関町で雑貨屋を始めました。NHKの朝ドラ「鳩子の海」の舞台にもなりましたが、島から都会へどんどん人が移った時代、素人の母は商売に失敗し、新築した家も6年で売り、小学6年からは風呂のない祖母の家で暮らしました。

高校進学に親戚中から反対され、私たち親子は孤立し、母を恨んだこともありました。

「貧困をくり返したくない」と日本共産党に入党

まわりの人に助けられ、高校、大学に入学しました。大学での地域の子ども会活動の中で、(遠足に行くお金がないので)「行きたくない」と言いはる子どもに(動物園に行きたい

上関町=2012年8月撮影



のに、穴のあいたズボンが恥ずかしく)「行きたくない」と、おじの好意を断った少年時代の自分が重なりました。

貧困は母の努力が足りなかったのではなく、社会的な背景があることも理解するようになり、19歳で日本共産党に入党しました。「母を恨む必要はない」否定しなくてすむことが入党の喜びでもありました。

「だれもが胸をはって生きていける社会を

母が良く口にしたのが「世の中の役に立ちんさい」という言葉。雇用や収入の安定こそ社会の基礎、若者や高齢者・障がい者、みんなが幸せになる権利があります。

今は、多くの人が卑屈になったり、他人をねたんだりしがちな時代です。

みんなが胸を張って、助け合って生きていける社会をつくりたい、私の生涯の原点です。

ブラック企業対策で知事に申し入れ
=2014年5月8日



子育て支援と平和に全力

こども医療費、府の補助前進 ―私への答弁が流れをつくる

一昨年12月3日松井知事が、決算委員会に、市町村への医療費補助拡大を答弁。その後公明党が、翌年2月には維新の会が本会議で質問し、補助拡大の流れができました。



大阪府は、「子ども医療費補助は小学校入学まで拡大するが所得基準は厳しく」「新子育て支援

交付金制度をつくって市町村を支援する。一昨年度からは高槻市6307万円、島本町1298万円の予定」という2本立てで、補助が拡大されました。

安倍政権と維新の会が憲法を変えることで一致

安倍首相 - - - - -

- 私たちの手で憲法を書いていく(1月14日)
- 維新の会の賛成で多数を構成できれば(1月14日)

橋下市長・松井知事 - - - - -

- 憲法改正にチャレンジするのはすごい。協力は何でもする(1月15日 橋下氏)
- 憲法改正の発議(国会議員の3分の2)に協力したい。9条についても改正すべき(1月16日 松井氏)

府民のくらしを守る

生活習慣病やがん対策への府の補助制度をつくり、健康な大阪を

- 生活習慣病対策の予算倍増を
- 特別養護老人ホームの建設で待機者を減らす
- 介護予防対策の抜本的充実を
- 精神障がい者にも1回500円ですむ医療補助を



松尾川の豪雨災害視察
=2014年1月8日

医療費補助の高校生への拡大 子どもの成長を助ける教育を

- 市町村の子ども医療への府補助は、小学校卒業まで拡大し、ほとんどの子どもに適用を
- 35人以下学級を府の予算で中学1年まで拡大する
- 進路や生活指導専任の先生を
- 子どもの多様な可能性を伸ばす教育を



大阪府へ最低賃金申し入れ
=2014年8月5日

南海トラフ大地震、異常気象に備える政治を

- 明治以来起こっていない東海・東南海・南海地震の本格的対策を
- 河川改修予算の2倍化、土砂災害に人と予算を

正規雇用拡大と最低賃金引き上げ、ブラック企業対策を

2000億円近い、大阪府の基金の一部活用や大阪都構想ストップで財源はつくれます。

- 2000年代から今日まで
 - 正規雇用の拡大、2013年からはブラック企業対策や最低賃金引き上げ。
 - 三島救命救急センターへの府補助削減ストップの署名運動。
 - 子ども・障がい者・1人親医療費補助制度を守る。
 - 子どもの貧困の連鎖と高校教育(大阪の中退や部活動などのデータ)は本にもなりました。
 - 1年間雇用の講師教員を正規の教員に。
 - 長周期地震動(長く、ゆっくり揺れる)など地震対策。
 - 地震に弱いWTC買い取り反対。
 - 政務活動費問題など政治と金を追及。議員の給料カット、政務活動費のホームページでの公開。
 - セクハラやパワハラで外部相談窓口設置。女性や子どもを性犯罪から守る。
- 維新の会の政治と全面的に対決、福祉・文化・河川改修などで成果も。

宮原たけしが、府議会ではじめて取り上げてきた主なもの

- 1990年代前半
 - 環境基本条例に環境権を明記させたこと。
 - りんくうタウン事業の見直し(今日まで約4000億円の損失を出す)

- 1990年代後半
 - 大型開発より、くらし・福祉・生活密着型公共事業を。
 - 老人医療無料化制度守れ。
 - 関西空港2期工事の中止。
 - 淀川上流などの、水道水用ダムの中止と府卸売り水道料金値下げ(2回)。
 - ノック知事のセクハラや大阪府の不祥事の追及。